

平成30年度 学校自己評価システムシート (県立越生高等学校)

目指す学校像	生徒一人一人の長所を伸ばし、社会で活躍できる「人財」の育成を目指す学校
--------	-------------------------------------

重点目標	1 少人数授業(指導)を活用して「わかる授業」を創造し、学習意欲を高め、基礎学力・専門的な能力を定着・向上させて、生きる力を育む。 2 豊かな心と自主的・自律的な態度を育み、普通科及び美術科のそれぞれの特色を生かして自己の在り方生き方を考えさせ、夢を実現するための、生きる力を育む。 3 生徒、保護者、地域、教職員の信頼関係を深め、高い意欲を持った入学志願者の確保にもつながる開かれた学校づくりに努める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 ・基礎学力の定着に向けて、生徒は、勉強は必要だと感じているが、家庭学習が定着していない。 【課題】 ・「わかる授業」の更なる発展に向けた取り組みとともに、生徒に資格試験などの取り組みを勧め、意識の向上を図り、学習意欲を高めていく必要がある。	○学びの質の向上	①生徒の実態に合わせた授業の展開と定期考査間の補習や課題の与え方を工夫する。 ②授業公開や情報交換会を改善する。 ③進路を意識させた資格取得を奨励する。	①成績不振者の減少、成績優良者の増加が見られたか。 ②情報交換会を実施し、授業改善に活かされたか。 ③各検定での受験者数と合格者は増加したか。			
		○学習環境の更なる整備と基本的な学習習慣の定着	①個に応じて保護者・委員会と連携した指導をし、プルアップ補習等の設定を工夫する。 ②学習ルールを明確化し、学習しやすい環境を作る。	①個に応じた指導体制を確立し、学習への意欲を高められたか。 ②落ち着いた学習環境を提供できたか。			
2	【現状】 ・研修会等の実施により、保護者・教職員の進路に対する意識が高められてきている中で、進路への意識が低い生徒もいる。個々の生徒に対応した進路指導、学習指導、生徒指導が求められている。 【課題】 ・進路指導、学習指導、生徒指導の一体を図り、より充実した指導を進める必要がある。	○学校全体で組織的に行う生徒指導の充実と部活動の活性化	①基本的生活習慣の確立を促し、保護者との連絡を密にしながら欠席数の減少に努める。 ②集会等で生徒全体に呼びかけ、問題行動を未然に防ぐ。 ③部活動加入率を高くし、活動を活性化させる。 ④配慮を要する生徒の指導体制を更に整える。	①欠席者数、遅刻者数、早退者数は減少したか。 ②トラブルや問題行動は減ったか。 ③部活動に積極的に参加する生徒の増加と、各種大会での活躍が増えたか。 ④不安、問題を抱える生徒を把握し、適切な支援、指導ができたか。			
		○進路に対する意識向上を図り、進路実現	①職業適性検査・SPIテスト・クレペリン検査等を行い、その結果を活用した指導をする。 ②JSTの有効活用と面接指導について実践的な研修会を設定する。 ③進路の手引きを有効活用する。	①生徒自身に自己理解させたうえで、適正な進路選択ができたか。 ②進路実現のための有効活用と、面接指導を通して、自己肯定感を培うことができたか。 ③進路の手引きをLHRや学年集会等で有効活用できたか。			
3	【現状】 ・一斉配信メールやHPなどの活用により、学校と保護者・地域との連携進めている。 【課題】 「開かれた学校づくり」を更に推進し、学校教育全般に対して、保護者・地域の理解を深めていく必要がある。	○保護者・地域との連携強化	①HP等の広報を充実させる。 ②PTA活動の周知と行事への呼びかけにメール配信システムを活用する。 ③50周年行事に向けて内容を検討し計画を作成する。	①保護者、地域へ教育活動の情報を発信し、本校の理解を進められたか。 ②メール配信システムの有効な活用ができたか。 ③周年行事実施に向けて内容を明確にして、計画を作成できたか。			
		○生徒募集の強化	①学校説明会の内容を見直しと、文化祭での生徒募集活動を計画する。 ②中学校訪問の内容を改善する。 ③在校生の母校訪問を新規に企画する。	①学校説明会への参加者数、リピーター数と文化祭に来校する中学生が増加したか。 ②より効果的な中学校訪問の内容の改善ができたか。 ③本校生徒の成長を中学校教職員に伝える事で生徒募集に貢献できたか。			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	平成	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		